◆要因分析と課題

（生野まつりでのアンケートより）

・「自覚症状がない」「めんどくさい」等
　受診意識が低い人が40％弱
・「どんな検査か知らない」「お金がかかる」
　「申込方法がわからない」等、正確な知識が
　行き届いていない人が35％弱

→普段からがん検診受診に対する意識が低い人が多く、またがんや検診に対する正しい知識を持っていない人が多い。

生野まつりで「健康づくり」ブースに来られた方へのアンケート（H30）

がん検診を「受けたことがない」理由	全体の割合
どんな検査か知らない	15.7%
お金がかかる	13.2%
申込方法わからない	5.3%
いつでも病院にいける	7.9%
検診案内がこない	5.3%
がんが見つかるのが怖い	13.2%
自覚症状がない	28.9%
便秘等で提出日が守れない	0.0%
内視鏡等ほかの検査を受けている	0.0%
その他（めんどくさい、特になし等）	10.5%

◆今年度の方向性

●ターゲットに応じた受診勧奨

・がん検診を受診したことのある人
　文書での個別勧奨を増やし、継続的な受診につなげる。
・がん検診を受診したことのない人
　ポスターやチラシの配布だけでなく、HPやSNS等の広報媒体を利用し、生活習慣病やがんに関する知識や各種検診の重要性についての情報提供を重点的に行う。

（7）身近な見守り・支えあい

◆取組実績

●「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」

①見守り相談室による要援護者情報の整備、管理
⇒同意1,538件　不同意209件（同意率：88.0%）
⇒区内全地域と提供にかかる協定の締結、名簿提供
⇒見守り活用事例報告会の開催(7月、3月)

②CSWによる孤立世帯等への専門的対応
⇒相談対応累計　のべ2,180件

③認知症高齢者等の行方不明時の早期発見
「認知症見守りネットワーク」による
徘徊者保護
⇒見守りメール協力者　180名

【見守り事例報告会の様子】

●「ご近“助”パワフルサポート事業」

行政の画一的な制度だけでは対応しきれない課題を持ち、支援を必要とする人に対し、福祉コーディネーターが地域ボランティアとのマッチングを支援

・相談受付　1,531件
・ボランティアへのコーディネート　765件
・新規ボランティア登録者数　17名

【30年度業績目標】

・ボランティアのマッチング支援を受けた区民のうち、十分な支援を受けることができたと感じる利用者の割合

目標：60%以上　⇒　実績：94%

目標達成

（8）「地域包括ケアシステム」の構築に向けた体制の整備

◆取組実績

●医療・介護の専門職による在宅医療・介護連携を推進
（在宅支援ネットワーク会議等）

●多職種連携による、認知症に関する普及啓発や事例検証等の対応力向上の取組として、認知症高齢者支援ネットワーク会議を開催
（在宅支援ネットワーク会議と同時開催）

・６回開催【4、5、7、9、12、2月】
・在宅支援・認知症ワールドカフェ　64名参加（6月19日開催）
・**専門職シンポジウム～医療・介護・生活支援の連携推進への取り組み～**
218名参加（８月25日開催）
・事例検討会(10月16日開催)
・認知症徘徊模擬訓練(11月20日開催)
・**認知症・在宅医療シンポジウム**
（３月9日開催）**210名参加**

《認知症・在宅医療シンポジウム》

●高齢者の自立支援、重度化防止に向けた取組
・自立支援型ケアマネジメント会議
(H30.12月より実施　4回)

●介護予防・生活支援サービス事業の充実、円滑な運用に向けた取組

・生活援助サービス従事者研修
（7月5・6日の2日間で開催）

【30年度業績目標】

・介護予防・生活支援サービス事業の充実、円滑な運用に向け、「生活援助サービス従事者研修」を区内で開催

目標：1回以上開催　⇒　実績：1回開催

目標達成

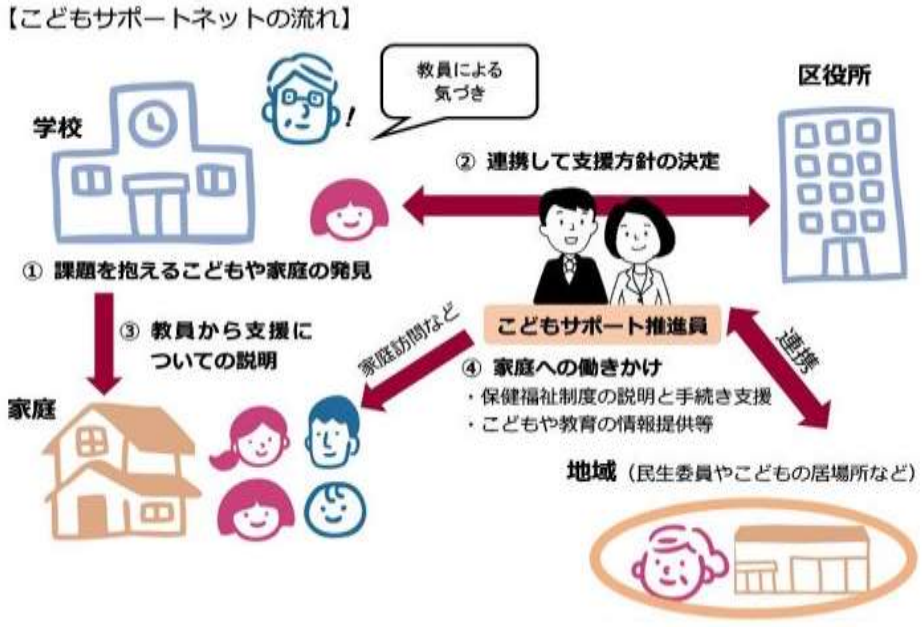
（９）真に支援が必要な方への確実な対応

◆取組実績

●こどもサポートネット事業　※こどもの貧困対策関連の取組

学校（教育分野）と区役所（福祉分野）が連携し、**こどもと子育て世代が抱える課題に対しての総合的支援**

・スクリーニング会議Ⅱ　130回開催



●虐待防止に向けた啓発、関係機関・各種支援専門機関との連携強化、**虐待の早期発見から分離保護の早期対応**

・要保護児童対策地域協議会会議　14回開催
・ケース会議　児童 45回開催
・児童虐待防止研修会　3回開催
・高齢者虐待防止連絡会議　1回開催
・障がい者虐待防止連絡会議　1回開催

●**くらしの相談窓口いくの（生活困窮者自立支援制度）**による各種相談・就労支援

●社会的養護を要するこどもが、一人でも多く家庭と同様の養育がなされるよう、**里親制度の普及啓発**（区広報紙への掲載等）

→1月22日（火）～25日（金）さとおやパネル展・相談会

《広報紙での周知・啓発》

《里親パネル展》

【30年度業績目標】

・こども虐待や高齢者虐待などの専門家、支援機関、学校や保育園が参加したワークショップ（連絡会）の開催

目標：年２回以上　⇒　実績：年５回開催

目標達成

（10-１）貧困の連鎖を断ち切るための支援

◆取組実績

●生きるチカラを育む課外授業

※こどもの貧困対策関連の取組

民間事業者等による悩み相談と課外授業を通して、**基礎学力の向上と自己肯定感の醸成**をはかり、**「自ら学ぶ力」の定着**をめざす。

対象：大池中学校１～３年生
会場：大池中学校
実施曜日：毎週月曜日・木曜日
実施時間：①18：30～19：40
②19：45～20：55
※時間帯の①と②はどちらかを選択
受講者数：34名（平成31年2月末時点）

【30年度業績目標】

・参加者に対し事業実施前と後にアンケートを行い、家庭学習を「全くしない」と答える者

目標：「全くしない」と答える者を半減　⇒
実績：2名を0名に

目標達成

◆今年度の方向性

・実施校を4校に拡大。

H30　1校
大池中

⇒

R1　4校
大池中・東生野中
田島中・新生野中

（10-２）貧困の連鎖を断ち切るための支援

◆取組実績

●生きるチカラまなびサポート事業 ※こどもの貧困対策関連の取組

「キャリア教育」や「性・生教育」を支援する「生きるチカラまなびサポーター」の登録制度を構築し、学校の要請に応じて講師を派遣する。

・登録講師　14名 27講座
・小中学校での授業、教職向け研修　15回
・保護者、教職員向けシンポジウム、研修会　2回
・運営アドバイザー会議　3回

【赤ちゃんとふれあう授業】

【保護者、教職員向けシンポジウム】

【30年度業績目標】

・事業終了時のアンケートにて、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問について否定的な回答をした受講者の割合

目標：8.0%未満　⇒　実績：3.4%

目標達成

受講者の意見

〔小学生〕（赤ちゃんとのふれあいを通して）一人ひとり個性あって、一人ひとり大切な命をもっているんだなぁと思いました。
〔中学生〕将来のことについて、こんなに深く考えたことがなかった。自分の将来について深く考えなおすことができた。　..etc

◆今年度の方向性

・登録講師の確保　⇒　アドバイザーや学校と講師情報の共有を図り、人材確保に努める。

（１１）人々の多様性を尊重し、認めあえる環境づくり

◆取組実績

・地域人権講座：4回
・広報誌「ふれあい」の発行：1回
・人権啓発事業（交流イベント）：1回
・人権啓発事業（映画会）：2回

【30年度業績目標】

・事業の参加者アンケートでの理解度

目標：70%以上　⇒　実績：99.05%

目標達成

地域人権講座受講者の意見

・やさしい日本語の基本が学べてよかったです。
・初めて聞くLGBTQについて理解できたと思う。
・留学生との交流ができ、文化は違うが一生懸命で輝いている姿に元気をもらいました。

（12）外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用　地域住民との交流促進

◆取組実績

●多言語Web版防災・水害ハザードマップを作成

●ツイッターで「やさしい日本語」による情報発信
→災害時は通常より１４倍の閲覧数
→「やさしい日本語」への関心の高さ

●やさしい日本語による新しいコミュニティづくり事業
「やさしい日本語から、つながろう」を開始

●多文化コミュニケーションイベント「タタミトーク」を開催：年１回
→ 参加者アンケート: 満足度 99%・コミュニケーションが取れた 89%

●区民まつり「やさしい日本語体験ブース」設置：年１回

【30年度業績目標】

・区役所など公共施設の案内表示や情報発信が外国人に対しても配慮されておりわかりやすいと回答した区民の割合

目標：50%以上　⇒　未測定

※ただし、30年度エスコートサービス事業業務委託契約により、各フロアにフロアマネージャーを配置し、多言語（英語・中国語・韓国語）で案内および情報提供を実施。
来庁者アンケートでは、「分かりやすく的確だった」割合　91.2%

※今年度の取組指標として「区役所からの情報発信が外国人に対しても配慮されており、わかりやすいと回答した区民の割合」へ変更。

タタミトーク参加者アンケートより

・会場の雰囲気がとても明るく料理と会話を楽しんで、
ステージを見てのバランスがよかった
・日本文化を知れてよかった（着物・駄菓子・抹茶アート・畳・コタツ）
・協力店同士の交流も出来た
・この取組みはイベントだけでなく今後も続けていくことが重要と思う

平成30年度 具体的取組の目標達成
くらしの安全・安心部会関連

具体的な取組	目標達成状況
地域自主防災力の強化	達成
災害発生時の的確な対応	達成
空き家や老朽住宅等への対策	未達成
犯罪の防止	達成
事故の防止	達成
すべての世代の健康づくり	未達成
身近な見守り・支えあい	達成
「地域包括ケアシステム」の構築に向けた体制の整備	達成
真に支援が必要な方への確実な対応	達成
貧困の連鎖を断ち切るための支援	達成
人々の多様性を尊重し、認めあえる環境づくり	達成
外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用・地域住民との交流促進	―

目標の達成状況を踏まえた評価結果の総括

くらしの安全・安心部会関連

地域における防災、防犯への意識や取組は着実に進んできているが、**昨年の大規模な地震、台風による災害により、新たに見えてきた課題**もある。そういった課題を整理し、対策を講じつつ、**いつ起こるかわからない災害に対して、自助、共助、公助ともに最大限機能する**ように引き続き取り組んでいく。

また、地域福祉をはじめ、**真に支援が必要な方に対してきめ細かな支援**が届くように、引き続き取り組んでいく。

外国人への**必要な情報発信や、豊かなコミュニティづくりのきっかけ**として始めた「やさしい日本語」の取組が手段として有効であると認識している。「やさしい日本語」の理解とコミュニティづくりが日常生活でも浸透するように、引き続き周知啓発を進め、**外国人を含めた誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり**に取り組んでいく。

平成30年度 主な取組
こどもの未来部会関連

安心してこどもを産み育てることができる環境づくり

子育てが楽しくなるまちづくり

未来を生き抜く力の育成

次世代の学校づくり（学校配置の見直し）

（「生野の教育」の実現）

（学校・教育コミュニティ支援）

未来を生き抜く力の育成

まちの教育力を上げる

「ニア・イズ・ベター」に基づく分権型教育行政の効果的な推進

こども未来

（1）子育てが楽しくなるまちづくり

◆取組実績

〈子育て応援イベント　いくのっ子広場〉

・　7月28日（土）台風のため中止
・11月　8日（木）10時～14時　生野区役所
・　3月24日（日）13時～15時　生野区役所
　参加者計　554名

「いくのっこ広場」第5回フェスティバル

こども未来